

平成26年度普及事業報告 (奄美群島におけるブルー・ツーリズムの推進)

大島支庁林務水産課

【背景・目的】

全国的にも珍しい漁業体験等（ブルー・ツーリズム）の観光資源としての可能性を探ることで世界自然遺産登録の一助や奄美産水産物の認知度向上により、持続可能な水産業を振興を図ることを目的とし、平成26年度は大島本島以外の島（喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島）を中心に観光素材の発掘及び育成等を行った。

【普及の内容・特徴】

1 観光素材の発掘

管内漁協等で伝統漁業や漁法等について聞き取り調査を行い、候補に挙げた漁業を実施している漁業グループと協議を重ねた。

2 観光素材の育成

(1) 体験商品の受け入れ体制の構築

市町村、漁協及び漁業者等で漁業体験を実施するにあたっての実施責任者、受入窓口や体験料金等について協議した。

(2) 漁業体験モニターツアーの実施

安全性、妥当性や改善点等を探るため、島内住民や大学生等を対象にモニターツアーを実施した。

3 漁業体験のPR（情報発信）

今年度に商品化した漁業体験や既存漁業体験（クロマグロ給餌見学等）を全国にPRするため、旅行雑誌への掲載を検討した。

また、既存漁業体験については奄美群島観光物産協会主催の春期・秋期観光キャラバンへの参加を計画し、関東・関西圏へ奄美のブルー・ツーリズムの周知を図った。

【成果・活用】

1 観光素材の発掘

奄美大島（宇検村）：待ち網漁体験
徳之島（徳之島町）：夜光貝加工体験
沖永良部島（和泊・知名町）：追い込み網漁業体験・ういじくさび
与論島（与論町）：トビウオロープ曳き体験・くさび釣り

2 観光素材の育成

(1) 体験商品の受け入れ体制の構築

奄美大島：宇検村漁協を窓口とし、体験料金は3,000円/人。

徳之島：観光連盟を窓口とし、体験料金は3,600円/人。

沖永良部島：観光協会を窓口とし、体験料金は以下のとおり。

追い込み網：14,000円/人、ういじくさび：8,000円/人。

与論島：与論町漁協を窓口とし、体験料金は以下のとおり。

トビウオ：15,000円/人、くさび釣り：12,000円/人。

(2) 漁業体験モニターツアーの実施

奄美大島、沖永良部島、与論島で小学生～大学生を対象に実施した。体験後のアンケート調査では「奄美の海を利用した非常にダイナミックな体験ができる」と高評価であったが、「トイレやシャワー等の施設が欲しい」という意見が多かった。

3 漁業体験のPR（情報発信）

旅行雑誌「まっふる（昭文社）」：本誌 5ページ

別刷パンフ 8ページ

観光キャラバン（春期）：鹿児島、福岡、大阪、東京

（秋期）：大阪



写真 1, 2 ういじくさび体験, モニターツアー (沖永良部島)



写真 3, 4 トビウオロープ曳き漁体験, モニターツアー (与論島)



図 1 「まっぷる (昭文社)」本誌



図 2 「まっぷる (昭文社)」別刷